

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 3月 15日

事業所名 このひかり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	4		距離を開けスペースをつくるようにしている。	配置などを工夫してスペースの確保に努める。
	2	職員の配置数は適切である	6	3		利用者数と職員数のバランスを確認している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	4	段差がある箇所は踏み台を設置している。	必要に応じて、改善・改修を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1		ミーティングは随時行っており、情報を共有する機会を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	5			アンケート結果は今後活用予定。送迎時等に保護者との情報交換を行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	5		集計時に保護者に文書にて配布。	会報やホームページ等を作成して、随時情報を公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6			第三者の見学はないが、ネットを通すなどをして改善していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2		研修動画や研修資料・教材等を利用して、支援に活かしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		支援会議などで話し合ったことに沿って計画作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		教材を使い、活動の中に取り入れている。	アセスメントツールの活用方法については、研修等で紹介する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2		その日気になった事などを話し、話し合いを通して共有する。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2		利用者や職員の意見も取り入れつつ、活動プログラムを行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2		利用者の課題を重視し、課題に沿った支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		その日の担当職員を中心に利用者の特性等を把握しながら活動に取り組む。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2		出勤後のミーティングで情報を共有理解を行う。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1		活動後のミーティングを行い、共通理解を行う。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		毎日の記録を担当別に記入し、記録を参考にしながら検証・改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1		定期的に職員間で利用者の課題などを話し合い、支援計画に反映している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	5		定期的に確認し、共通理解に心がける。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1		会議前には職員でミーティングし、利用者の情報共有を行い、児童発達責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	2		学校や自宅への送迎時等に確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5		現在該当者なし。	今後該当者がいた場合を想定して、体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	5		保護者や利用者の担任からの情報を聞き取り、把握している。	関係機関と連携し、支援に繋げていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5	1	現在該当者なし。利用者の記録は保管されているため、対応可。	今後該当者がいた場合を想定して、情報提供ができるようにする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	6		実施していない。	専門機関と連携し、研修の機会を設ける。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	3	コロナ感染予防のため、今年度は控えている。園外での自由遊びの時などに交流するときもある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		8	1		協議会と連携し、参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	2		連絡帳や送迎時での引継ぎの際に事業所での様子を申し送りし、情報共有に努めている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7		実施していない。	職員がペアレントトレーニングを理解し、保護者への助言に繋げていけるように研修等を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1		契約時や保護者からの問い合わせがあった際に説明を行う。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2		保護者と情報共有をし、支援をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	2	コロナ感染症予防のため、今年度の実施はしていない。	感染症予防対策をし、実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1		可能な限り対応していく。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	2	月のスケジュールや行事内容の文書配布などを行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	8	1		職員に周知徹底を随時行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1		職員間で情報共有を図り、分かりやすく伝える工夫をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	4	コロナ感染予防のため、実施していない。	感染症予防対策を徹底し、参加してもらえるようにする。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4		避難訓練を通して職員間で確認を行っている。	今後は保護者にもマニュアルを配布し、周知に努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		年2回訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2		定期的に行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4	1	保護者と利用者に説明をしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3	1	保護者や本人から聞き取りを行い、成分表などを見て確認する。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4	1	実施していない。	起こりうる事例や事業所内で想定されることを話し合い、作成・共有していく。